

事業名 CD	0108040306	中央公園管理事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	300200	建設課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	中項目	快適に暮らすための生活環境の充実	
	小項目	公園整備の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	蕨崎市都市公園管理条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	公園を市民が安全、快適に使用できるよう適正な管理、運営を行う
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	公園利用者
これまでの改善経過	定期的な塗装塗替え、遊具の保守等、公園各施設の管理、修繕 遊具の設置、施設のPR
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 () 管理・運営業務委託、施設修繕工事、施設のPR
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	管理・運営を適正に行うことにより、公園利用者が安全に、また快適に使用することができる。また、市民の憩いの場として公園利用者の増大を図る

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	15,095	51,328	11,847
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	365	37,180	198
	一般財源	14,730	14,148	11,649
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.25	0.29	0.25
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	1,727	1,979	1,680
D	総事業費(A+C) (千円)	16,822	53,307	13,527
* 参考	H22)市民1人当りの事業コスト	423 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	施設管理業務委託件数	業務委託発注数	7	7	6
	修繕工事件数	修繕工事発注件数	7	9	8
成果指標	維持管理費用(千円)	業務委託料+修繕費+光熱水料等(施設整備費は除く)	12,267	13,041	12,754
	利用者からの苦情件数	公園利用者からの苦情件数		7	4
	公園内事故数	公園内で起きた事故件数	0	0	0
	アダプトプログラム活動団体数	アダプトプログラム活動団体数	1	1	2
効率指標	ミニSL利用者数	年間ミニSL利用者数	7,453	7,912	9,356
	単位面積当たりの管理費(円/m ²)	中央公園管理費(施設整備費除く)/中央公園面積	130	139	135

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない ほぼ必要最低限の業務委託量で清掃、樹木の管理が適正になされているのでほぼ妥当である		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 公園がきれいに管理され、事故も起きておらず、成果はほぼ上がっている		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 単位面積当たりの管理費はほぼ横ばいであり、ほぼ効率的である 公園利用者が増加(間接的指標)しており、ほぼ効率的である		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 施設のリニューアル等を考え、利用度の増大を図る 施設の老朽化が進むので、計画的な施設修繕を行う	(2) 24年度 引き続き施設の適切な管理に努める 施設の計画的な修繕を行う 管理業務委託等をさらに精査し、管理コストの縮減を図る	(3) 23年度 引き続き施設の適切な管理に努める 施設の計画的な修繕を行う 遊具の管理を適切に行い、事故が起きないように努める
	22年度の改善計画 施設のPRを積極的に行い、公園利用者の増大を図る 管理業務委託の合理化、効率化を図る		
22年度の改善結果 公園内ミニSLのPRを積極的に展開した結果、ミニSL乗車人数が前年比1.18(9,356名)となり、間接的指標ながら公園利用者の増大を図ることができた メインスタンド清掃業務委託の業務を管理委託業務に含めることにより、業務委託費を削減することができ、効率化を図ることができた			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 将来は、アダプトプログラムを活用し、管理コストの削減を図っていく必要がある			
課長所見	公園利用者の安全確保と適切な維持管理に努め、管理コストの縮減を図る。		